

雨のなか戦跡めぐり

元町 新井竹子

10月20日(日)、朝からの雨が午後になっても止まず、これでは参加が無理だという人が5人ほどあった。せつかくの企画だからとやってきた人は、新しい参加者も含めて15人。中央公民館の学習室で、大久保俊秀さんから、用意していた資料に従っての説明を受ける。市長さんからの励ましのメッセージの紹介もあって、さっそく戦跡めぐりへと出発する。初めて参加した新井安史が、行程全体を短歌に詠んだのでご覧ください。

軍票ひとつ

●雨のなか歩くわれら一団を女生徒ら怪訝に見て通り過ぎ
●"陸軍"と刻まれし境界を示す杭ななめに傾きてひっそりと立つ

●崩れかけし杭にふるれば手のひらに伝わりてくるその芯の冷え

●ああ・ここが陸軍坂戸飛行場か草にまみれて杭ひとつあり
景徳鎮の土

●陶芸の中国景徳鎮その陶土うばい空港の資材としたるか
●ペトンとう景徳鎮の土の上を踏みしめて立つ空港跡地に

風船爆弾

●戯画でなし和紙にコンニャク糊の風船で爆弾とばすとは笑って哀れ

●風船爆弾造りし跡と指し示すあたりは高層マンションであり

●気流にのりし風船はほぼ一万個その一割が着弾というが
納翼の寺

●寺院の一隅に立つは"飛行第一戦隊納翼の地"なる碑
●碑文読む我が頬を打つ雨のつぶ無為に生き来しをひそかに恥じる

多和目永源寺の疎開児

●山裾の丘の多和目永源寺ここ疎開の児ら生き居りき
●ノミ・シラミ・飢えともたたかい本堂のひと間が児らの居場所なるとは

●陸軍の内務班に似る疎開地のこの班長さえも小国民なる
●改修されし寺に疎開の跡はなく山のなだりに墓石ひしめく

「坂戸の戦跡めぐり」参加者アンケートから

■どこからのご参加ですか？

- ・坂戸市 6
- ・鶴ヶ島市 0
- ・川越市 0
- ・その他 0

■戦跡めぐりをどこで知りましたか？

- ・広報 1
- ・会のニュース 1
- ・会員 4
- ・知人 1
- ・その他 1 (メール)

■戦跡めぐりはいかがでしたか？

- ・参加して良かった 5
- ・学ぶところが多かった 5
- ・平和の大切さをあらためて実感した 2
- ・憲法9条はこのままで良いと思った 2
- ・期待したものとは違っていた 0

■こういった催しにまた参加したいと思いましたか？

- ・参加したいと思った 6
- ・内容によっては参加したい 0
- ・開催の際には案内を送ってほしい 2

■戦跡めぐりの感想をお聞かせください

◆暴力のすさまじかった軍隊の中であって、遠藤三郎さんのような方もいたのだと知って勉強になりました。遠藤さんが飛ばされたことは、いつの世も、正しいこと、当たり前のことを主張する人が馬鹿をみているんだなと思いました。憲法の精神とはかけ離れていると思います。憲法9条をはじめ、憲法の心を広げなければと思いました。(小野沢義雄)

◆大久保さんがよく調べていて、とっても勉強になりました。とても大事なことだと思いますので、今後もがんばってください。身近な人の体験など、できるだけ聞くようにしていきたいと思います。(小野沢紀美子)

戦争を語り継ぐ 子や孫の時代へ

日時 12月8日(日)13時30分から16時

会場 坂戸駅前集会施設(2階)

内容 「ああ、坂戸町駅」戦後中学1年生の記憶(新井安史さん)
「戦争の中に生きた少女」私も風船爆弾を(内堀ヨシノさん)

- ◆ 今日のお話しと戦跡めぐりをとおして、坂戸は、この辺の戦争の中心機能を有していたことが勉強できました。本当に驚いています。ありがとうございました。家族に伝えて戦跡めぐりもしたいと考えました。
- ◆ 坂戸市に住んで40年。少年時の通学の途中の駅等の縁はあったが、戦跡のことはほとんど知らなかった。本日の戦跡めぐりで改めて種々のことを知り、驚くと同時に感動した。主催の方（大久保様）の解説が大変良かった。深い教養と話術の巧みさ、魅力にあふれていた。個人的に出かけるときの「戦跡マップ」が欲しい。折りをみて作ってください。（新井安史）
- ◆ 第3回目の今日は、西のほうの戦跡を見学しました。今まで「坂戸は静かな地方都市」という印象を持っていましたが、「飛行場」に関連して多くの戦跡があることに驚きます。あの戦争には、全てのものを（つぎ込んでいた）吸い込まないと遂行できなかったほど国力がなかったのでしょうか。それでも戦争の結果は？と考えると、本当に無駄な、無理なことをしたものだと思います。（石川裕一）
- ◆ 現地に足を運んで、より実感をえました。戦跡と別に、城山橋を初めて渡って感動。永源寺の学童疎開跡に立って、昔ののどかな里の風情をしのび、逆に疎開児童たちの悲しみ、寂しさ等を経験者年代として何十年ぶりかと思ひのびました。（川瀬渉貴）
- ◆ 私も都職労退職者協議会（都退協）で、登戸研究所、日吉台の旧海軍の連合艦隊司令所跡（地下壕）などの見学を主催してきたが、戦争の恐ろしさや愚かさを検分でもすることで、大事なことと思ってきた。自分の住んでいる坂戸の戦跡を知ること、知らせることも同様であり、また、機会を作って欲しい。（小林匡志）
- ◆ 始めの説明がしっかりしていて資料もよくできていたので、実際の場所に行ってもすぐに資料とつなげて見る事ができた。風船爆弾が坂戸の中央あたりで作られていて、それがアメリカまで飛んでいったことは驚きです。その他の地も普段行っていた場所なのに、改めて聞いて見て、懐かしい場所になった気がします。雨の中での戦跡めぐりは記憶に残るでしょう。（新井竹子）

【投稿】議場に日の丸！

芦山町 坂戸市議 吉岡茂樹

坂戸市の12月議会に「議場における国旗及び市旗の掲揚に関する決議について」という議員提出議案が提出されました。もちろん、提出議員に共産党議員団は含まれていません。

提出された議案には、坂戸市が「平和都市宣言を制定し」「平和市長会に加盟している」として、恒久平和実現に寄与する取り組みをしていることと、戦争時の戦意高揚、敵陣突撃のシンボル「日の丸」掲揚を同列視していることにも怒りを覚えました。

日本が三国同盟を結んだドイツとイタリアは、敗戦後、侵略戦争のシンボルであった国歌・国旗を全て廃止して再出発しましたが、日本は戦争の最高責任者である天皇を象徴とし、戦争犯罪人(戦犯)が総理大臣や閣僚になり、侵略戦争のシンボル「日の丸」を国旗としました。そんな日本だからこそ、平和の砦としての「憲法9条」がますます光輝いているのです。

いま、憲法9条改悪、集団的自衛権行使と「特定秘密保護法」の策動が加速しています。そういった中で、坂戸市では議場への「日の丸」掲揚です。隣の東松山市では、議場への「日の丸」掲揚が強行され、新採用職員の自衛隊体験入隊が始まっています。これが偶然ではないと思うのは私だけでしょうか。

「日の丸を掲げるぐらいいいのでは」という方々がおられます。しかし、「日の丸」に異議をもつ方々がおられることも事実です。市議会の議場は、全市民のもので、全市民の意思が反映されるのが議場です。法律が国旗と決めたからと言って、市民の意見が分かれている「日の丸」を議場に押しつけることはできません。市旗とは次元の違うものであり、何よりも憲法が保障している「内心の自由」に反することになり、許すことはできません。

坂戸の戦跡(2)「弾薬庫」

千代田 大久保俊秀

元陸軍航空士官学校坂戸飛行場で使用されていた弾薬庫が、坂戸中学校のグラウンドの南端に2棟残されています。弾薬庫は弾薬を安全に保管するため、爆撃に耐え暴発等の事故を防ぐため、コンクリートを大量に使い壁の厚さは20cm以上、扉も鉄扉と非常に堅牢に造られています。

一昨年の東日本大震災時には校舎が損傷しましたが、この弾薬庫は大きな音を立てただけでビクともしなかったそうです。



現在も体育倉庫やPTAの廃品回収の倉庫として使用されています。

戦争遂行のため造られ、70年以上経っても堅牢さを

保つ弾薬庫は、戦争のためどれほど無駄なお金が使われたかを教えてくれる、見て触れて実感できる貴重な財産です。

この弾薬庫脇には、広島で被爆したアオギリの二世が植えられており、平和への願いを静かに伝えてくれています。

今後の運営委員会(会員なら誰でも参加できます)

12月26日(木)10時~12時、1月23日(木)10時~12時

北坂戸出張所内「坂戸市民活動交流フロア」会議室(溝端公園に面した「埼玉りそな銀行の看板」が目印)